

県内外のペタンク愛好者をつなぐ

彩の国ペタンク通信

第66号

編集 埼玉県ペタンク・ブール連盟
企画・編集 広報部(森)
連絡先 048-572-1885
Mail: petamori1885@gmail.com



越生町新井町長

第9回フエデレーシヨンカップが1月27日(日)、越生町いこい広場に於いて開催されました。
2019年最初の県連盟主催のクラブ名誉をかけた大会となり埼玉県内より47チームが参加して寒さを吹き飛ばすような大会になりました。

第9回フエデレーシヨンカップ

開会式では越生町新井町長より越生町のアピールを兼ねたご挨拶をいただき、前年度優勝の上黒谷チームより優勝杯の返還が行われ、2019年最初の県連盟主催のフエデレーシヨンカップが開始されました。

開幕時は、青空ものぞき、このまま晴天が続くかと思いきや、午後には天気が急転して、突風による土ぼこりが舞い、黒のスポンが白くなるほどでした。

それでも、お昼ご飯時には、風も静まり、いつもの光景が見られ楽しい昼食を楽しんでいました。

越生クラブの皆さんからも手作りの、美味しい「こんにゃく」「梅干し」「たぐわん」などを用意していただき、参加選手は喜んでいただきました。



団らんのひととき



大会審判団&事務局



土ぼこりに苦しむ選手



優勝:三郷エース
樋口勝久 亀田シメ子 河部耕喜

このメンバーで優勝出来て大変うれしいです。前々回の大会に同一メンバーで準優勝して、今回はリベンジが出来ました。



2位:片柳A
佐東慎吾 藤倉登美子 吉川静男



3位:川本B
柴田つね 井上まち子 吉田茂子



4位:長瀬
伊野隆 市川重夫 伊野曜子

第11回さくら草ペタンク大会



中西副会長(左端)と河部会長(右端)と共に

第11回さくら草ペタンク大会が2月10日(日)深谷市川本おまつりの広場に於いて、33チームが参加して開催されました。開会式では80歳以上の12名の選手には、河部会長より記念品が授与されました。

大会前日までは、雪が降り当日には数センチ積もる予報でしたが、気温は低くも陽がさして、気持ちよいペタンク日和となりました。

9時に試合開始され、11時25分には予選が終了し、12時40分にはカドラーシユ戦が始まり、決勝トーナメント戦へと順調に進み、決勝戦では大会2連覇を目指す江南チームと川本チームとの対戦となり、最終メーヌでは1投で形勢逆転となるところでしたが、川本チームに勝利の女神は傾かず、江南チームが大会2連覇を達成しました。



80歳以上の選手の活躍



決勝戦を見守る観客



3位決定戦の様子



優勝:江南スカラベ
宮城修一 木村功 中村孝



2位:川本C
吉田茂子 大澤廣美 柴田つね



3位:片柳A
高橋よし子 森田治 橋本徹



4位:三球黒田
岩田幸雄 田中敏夫 富岡道雄

寄居オープンペタンク大会

第30回寄居オープンペタンク大会が2月17日(日)寄居町運動公園多目的広場に於いて、関東近県から63チームが参加して開催されました。

今大会は、埼玉県でも古い歴史を持つ大会として親しまれ第30回を数えるまでに至りました。

京都府からの参加チームもあり、30回記念として出場者には記念のメモ帳が配布されました。



2位:京都バンブ
中村信子 中村俊彦



優勝:川本C
清水葉子 大澤廣美



3位:FUKAZAWA
深澤一樹 深澤忠義



第8回秩父市長杯ペタンク大会

第8回秩父市長杯ペタンク大会が3月10日(日)秩父市荒川総合運動公園グラウンドで開催され、総勢167チームが参加しました。

市民の健康増進、レクリエーションのため、ペタンクを推進し、「ペタンク日本一」のまちを目指している秩父市をあげた大会となり、秩父市長杯「芝桜大会 荒川の部」「芝桜大会・三峰の部」「ジュニアの部」に分かれて大会は開催されました。

開会式では、久喜秩父市長からは、今年10月、日本選手権が開催され、多くの選手、関係者が秩父市にお越しになります。市を挙げて歓迎するとのご挨拶をいただきました。

また、90歳以上の選手には久喜市長より記念品が渡され、参加者から大きな拍手をいただきました。



左から荒船ミツ子さん(95歳)
柳シズさん(98歳)
久喜市長
千島福太郎さん(94歳)

|| 各部の大会結果 ||

秩父市長杯



優勝:大沼D
水戸部幸次 浅見利次
堀口三津司



2位:花もも
川端芳子 小島武
川端進



3位:秩父原谷
太幡菊男 内田均
浅見恒夫



「ジュニアの部」成績

Aブロック優勝:大畑育成会(赤)
Bブロック優勝:ちかとっ子A
Cブロック優勝:第一小連合A
Dブロック優勝:第一小連合B

「芝桜大会・荒川の部」成績
優勝 諏訪E
吉野光男、山中輝義、市川満佐子
「芝桜大会・三峰の部」成績
優勝 愛泉会
猪狩福太郎、中山勝夫、大久保ヒロ子

第2回熊谷ミックスダブルス選手権大会

第2回熊谷ミックスダブルス選手権大会が3月31日(日)熊谷市さくら公園に於いて、64組が参加して開催されました。

大会は小雨まじりの中、試合は開始され、予選リーグが終了するお昼頃には上がり晴天になりました。

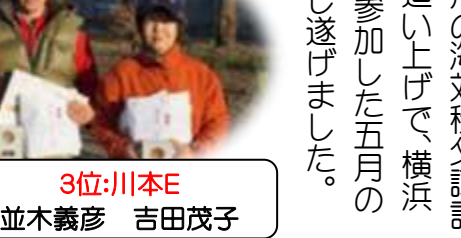
決勝戦では、五月の海対秩父諏訪Bとなり、終盤の追い上げで、横浜ペタンク協会から参加した五月の海が、初優勝を成し遂げました。



優勝:五月の海
大貫真弓 土志田勝三



2位:秩父諏訪B
入野野肇子 浅見恒夫



3位:川本E
並木義彦 吉田茂子

日本選手権実行委員会

2019年日本ペタンク選手権大会に向けた第2回埼玉県実行委員会が秩父市で開催されました。



2月21日秩父市健康スポーツセンターに県連盟実行委員及び秩父市民スポーツ課職員のスプーツ課職員が26名が集合し、午後3時半過ぎまでの2時間、有意義な話し合いが行われました。

10月4日～6日までの全体スケジュールが主な議題となり、役員の確認、昼食手配、宿泊施設、利用可能な駐車場、各都道府県代表チームを表示するプラカード、テント張り等々、担当部会の役割を確認しました。



Pick Up!

ペタンク探訪 第四弾



今回の訪問先は、秩父市大沼ペタンククラブさん。本来ならば県内各地域をそれぞれ1クラブ訪問させて頂いた後という計画でしたが、今年10月の日本選手権開催地が秩父になったこともあるための訪問となりました。

第1回で訪問させて頂いた上町ペタンク愛好会さんが、秩父ペタンクの草分け的存在であるのに対し、大沼ペタンククラブさんは数多ある秩父ペタンククラブのなかの代表的存在です。

大笠代表の「徳島大会以来、8年連続で日本選手権出場」という実績がこのことをなによりも物語っています。現在の会員数は35名ほど、選手権が秩父開催となる今年、「2回目となる男女同時出場」が目標であるとのこと。練習日は、毎日午前(夏季には夜間練習もあり)、普段はその日集まったメンバーでチームを構成し、トリプルス対戦を原則とし、トリプルス対ダブルスも。勝敗により次の対戦は一方のチームがコートを移動し、対戦相手を変更していき、傾合いをみでの休憩タイムはクラブハウス内で溢れんばかりの、いや実際には多すぎて溢れてしまっているようですが、飾られた優勝カップや表彰状の数に圧倒されます。



■ フェアプレー7か条 ■

- ①約束を守ろう ②感謝しよう ③全力を尽くそう ④挑戦しよう
- ⑤仲間を信じよう ⑥思いやりを持とう ⑦楽しもう

～ フェアプレーはスポーツの基本 ～

クラブハウス内に掲げられた、この「フェアプレー7か条」。ペタンクを、スポーツをする際の大事な精神ですね。改めて、勉強させてもらいました。ありがとうございます。



3月の卒業シーズンは終わりますが、今や全国の中学校を中心に(小学校・高等学校を含む)最も卒業式で歌われる卒業ソングの一つ「旅立ちの日に」は、大沼町テランの真向かいにある影森中学校で作られ、平成3年3月に影中全教職員により初めて、「卒業生へのサプライズプレゼント」として歌われました。

今年も中学生たちによる「旅立ちの日に」の合唱を聞きながら大沼ペタンククラブのみなさんは、ペタンクを楽しまれたことと思います。

訪問日:平成31年2月26日(火) 取材 浅見広報